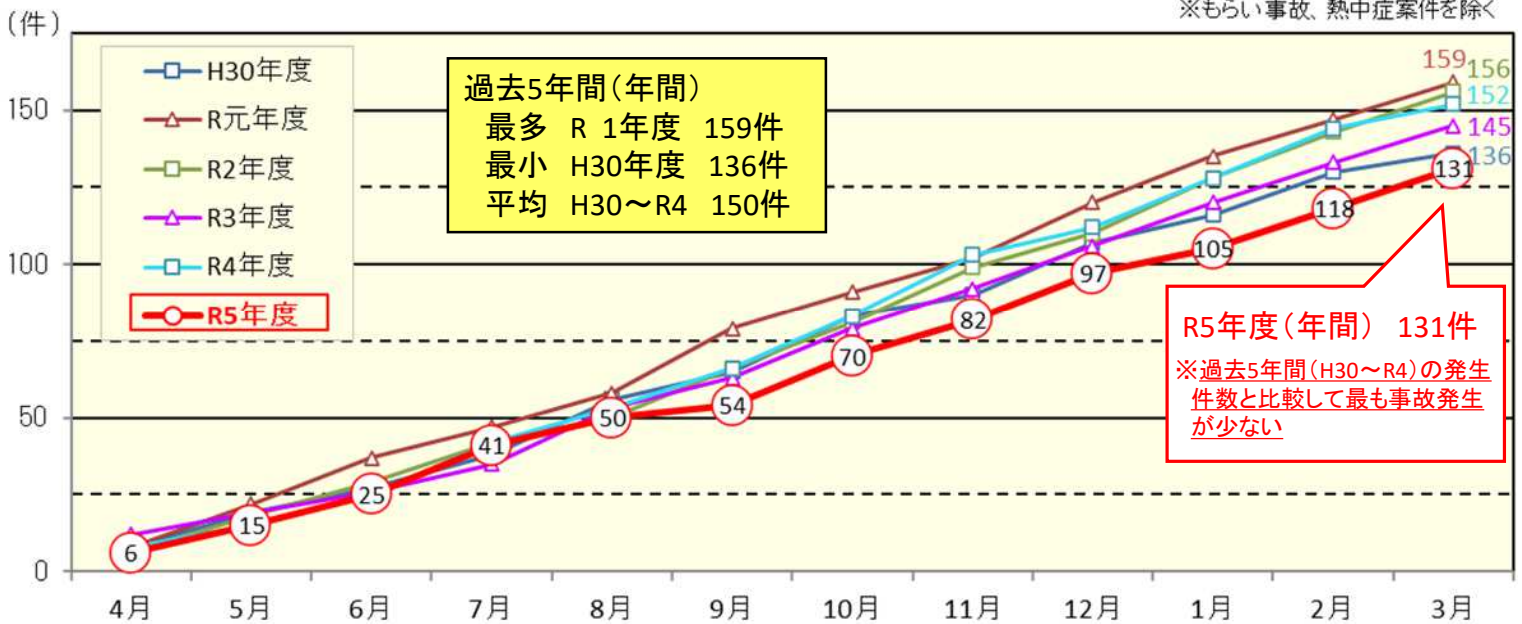
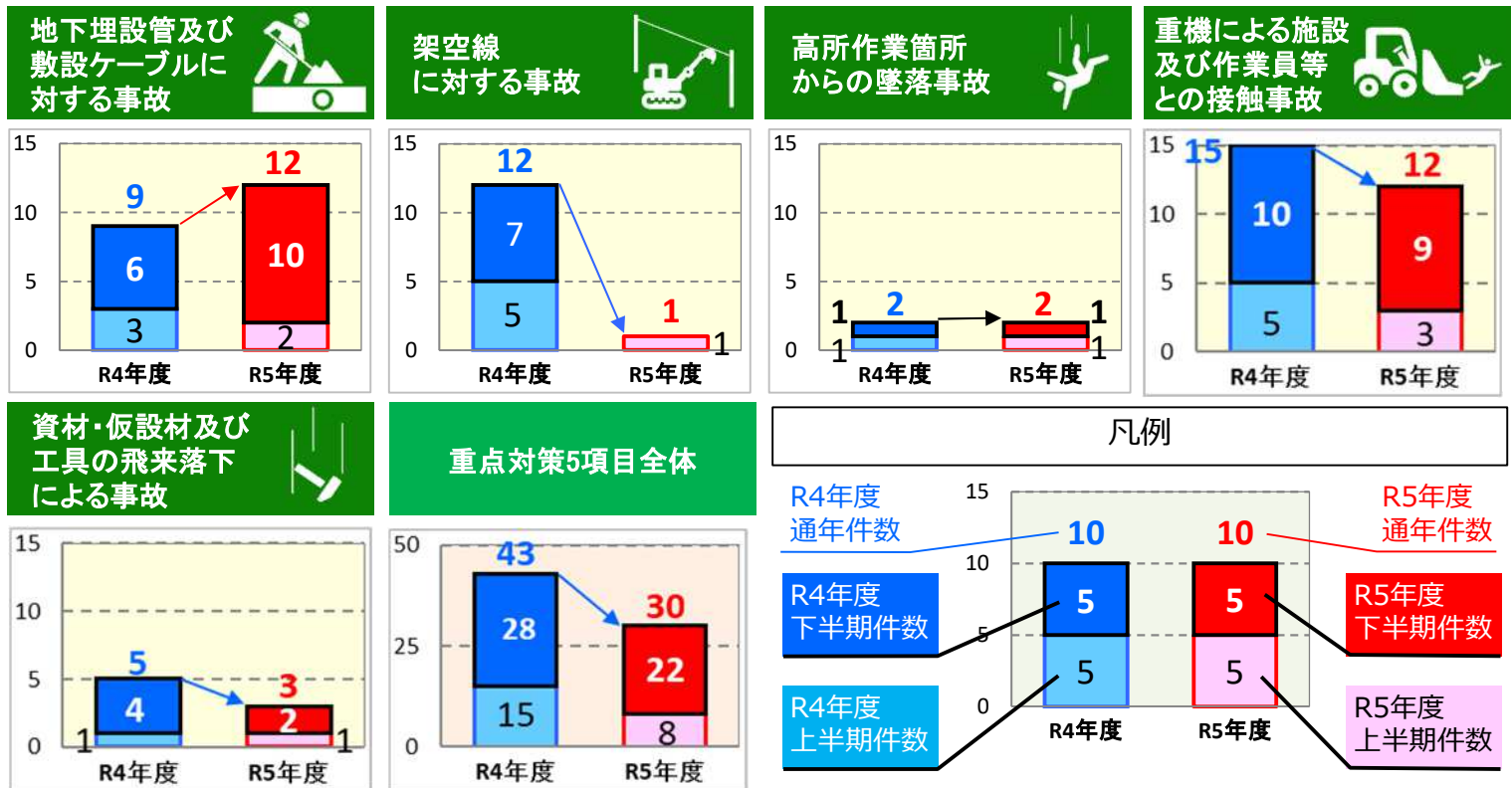


## 令和5年度 直轄工事等事故の発生状況

### 近年の年度別工事等事故発生件数(累計) (速報値)



### 令和5年度工事等事故防止重点対策5項目の発生件数(速報値)



令和5年度は131件の事故が発生し、過去5年間(H30～R4)の発生件数と比較して最も事故発生が少ない状況でした。

また、重点対策5項目においては、架空線に対する事故が大幅に減少しましたが、ひとたび発生すると公衆へ大きな影響を及ぼす可能性が高いため、ほかの重点対策項目とあわせて、引き続き、より一層の事故防止に努めてください。

**関係者一丸となって事故防止に取り組んでいきましょう！**

# 令和6年度の工事等事故防止重点対策項目を策定

近畿地方整備局では、管内の直轄工事及び現場作業を伴う業務における事故の安全対策強化を図るため、「工事等事故防止重点対策項目」を策定し、工事等における事故防止に取り組んでいます。

令和6年度においても、近年の事故発生状況等を鑑み、下記のとおり定めることとしましたので、お知らせいたします。



## ①地下埋設管及び敷設ケーブルに対する事故

令和5年度は増加しました。ひとたび発生すると公衆へ大きな影響を及ぼす可能性が高いため、引き続き、より一層の事故防止に努めてください！



## ②架空線に対する事故

※柱、支線含む

令和5年度は減少しましたが、ひとたび発生すると公衆へ大きな影響を及ぼす可能性が高いため、引き続き、より一層の事故防止に努めてください！



## ③高所作業箇所からの墜落事故

※高所作業とは、法面・足場等安衛法に規定する高さ2m以上の作業箇所をいう  
※滑落含む

令和5年度は横ばいでした。ひとたび発生すると重大な労働災害に繋がる可能性が高いため、引き続き、より一層の事故防止に努めてください！



## ④重機による施設及び作業員等との接触事故

※施設とは、公共施設及び第三者施設をいう。ただし、架空線は除く  
※重機の転倒事故含む

令和5年度は減少しましたが、ひとたび発生すると重大な労働災害に繋がる可能性が高いため、引き続き、より一層の事故防止に努めてください！



## ⑤資材・仮設材及び工具の飛来落下による事故

※壁等の倒壊による上方からの落下事故含む  
※強風による資材等の飛散含む  
※UAVの落下事故含む

令和5年度は減少しましたが、ひとたび発生すると重大な労働災害に繋がる可能性が高いため、引き続き、より一層の事故防止に努めてください！



近畿地方整備局のホームページでは工事等事故防止のための安全教育資料を公開しています。現場での安全教育にご活用ください。

近畿地方整備局ホームページ「建設事故防止に向けて」

